

2020年11月20日

報道関係各位

野川染織工業株式会社
代表取締役 野川雅敏

News Release

半減する剣道人口を食い止め、和の伝統を次世代に残すべく 国産剣道着「武州一 文様刺し」シリーズを開発

日本が世界に誇る武道の一つ剣道は、近年、国内の少年少女の競技人口減少が大きな問題となっています（平成元年から約46%減少。別紙参照）。さらに、他競技と同様に、コロナ禍のため、練習や試合などもほとんどの団体が満足に行えず、競技者のモチベーション低下が剣道界の危機に拍車をかけています。

そこで、野川染織工業株式会社（本社：埼玉県羽生市 代表取締役：野川雅敏）は、東京オリンピックや、大人気漫画『鬼滅の刃』で注目を集める市松模様などの伝統的な和柄に着目し、少しでも剣道や和の伝統に触れる機会が増えるよう、国産剣道着の老舗として展開するブランド「武州一（ぶしゅういち）」に、和の文様を刺子で表現した剣道着を開発し、下記のとおり12月1日（火）より販売します（開発背景は別紙参照）。

これにより、子供たちが剣道に取り組む気持ちを応援し、稽古が楽しくなることで、危機にある剣道や伝統を次世代に継承したい、業界を支える一翼として危機的状況を乗り越えたい一心です。



武州



記

■老舗国産剣道着メーカーが作る「武州一 文様刺し」シリーズ 開発・製造・販売

販売開始：2020年12月1日(火)～

販売方法：当社オンラインショップおよび全国取扱小売店

製品：藍染の刺子による市松柄、青海波柄、鱗柄などの剣道着

問合せ・取材担当

野川染織工業株式会社 製販企画部部長 野川雄気

住所：〒348-0033 埼玉県羽生市須影 878

TEL：048-561-0368 FAX：048-563-2323

E-mail：bushu.nogawa.5@gmail.com

<http://www.bushuichi.com/>



Bushu Process

武州の伝統 天然発酵建て藍 百年の極み 創業大正三年 野川染織工業株式会社

< 剣道界の現状 >

剣道は日本が世界に誇る武道のひとつですが、その業界を取り巻く環境は良好とは言えません。

平成以降、人口減少やスポーツの多様化の影響により剣道を始め日本人の数は減少しており、公益財団法人 全日本剣道連盟は、令和2年4月、5年間の事業運営の基本計画指針として「次世代への継承に向けて」をテーマに掲げています。その中で、剣道等（剣道、居合道および杖道）の初段合格者の人数を、新規剣道等人口として評価しており、その数は平成元年の約62,000人に対し、平成30年には約33,000人と約46%減少したと記されています。

年度	初段	13歳人口
H元年	6.2万人	183万人
H29年	3.6万人	111万人
H30年	3.3万人	106万人
R元年	3.0万人	109万人

(推計)

(公益財団法人 全日本剣道連盟より引用 <https://www.kendo.or.jp/information/20200407/>)

しかし、令和以降から現在、コロナ禍で世界全体が暗い中、東京オリンピックのエンブレムや大人気漫画『鬼滅の刃』の影響などで、日本人が和の文様や剣道に目を向ける動きが起こっています。新たに剣道を始め、心身の鍛錬をしたいと思う子供たちが道場の門をたたき、武道具店を訪れています。

< 剣道と藍染め >

剣道の道着が今でも藍染め木綿の刺子生地でつくられている理由は、藍の薬効が戦国時代に傷の化膿止めとして重宝され、武将の鎧下に藍染めの布が用いられていたことが起源だと云われています。現在、剣道衣類や剣道具に用いられる藍染めの刺子生地は「織刺（おりざし）」と呼ばれ、吸湿性と衝撃耐久性に優れているため、厳しい稽古から身を守るために用いられています。しかしここ数年、竹刀・剣道衣類・剣道具は外国産の廉価品が増え、安全性や品質を重視した、国産剣道具をつくる事業者は非常に厳しい事業環境下にあります。



< 藍染めと埼玉県羽生市が生んだ 国産剣道着ブランド「武州一」 >

実業家・渋沢栄一の土台をつくったのが藍であり、埼玉県羽生市は江戸時代から続く藍の糸染めの産地で、最盛期は約200軒あった紺屋も化学染料や外国産に押され、現在は市内にわずか4社のみとなりました。古くは農作業着用の生地を生産していましたが、農業の機械化により、その需要は剣道用の生地へと変わり、同市では、国産剣道衣類・剣道具の生地の約8割を製造しています。

野川染織工業株式会社（本社：埼玉県羽生市 代表取締役：野川雅敏）は、創業大正三年。天然発酵にこだわった藍で糸を染め、織機で生地を織り、裁断・縫製までを自社にて一貫して行う、国産剣道着ブランド「武州一（ぶしゅういち）」を手掛ける会社です。国産剣道着を製造するメーカーとして、その歴史ある技術を生かし、剣道界の未来を担う少年少女剣士たちを応援



たい。子供たちが道場に行くことが楽しくなるような剣道着をつくりたい。その思いから、身を守る衣類としての安全性や質を最優先に、古来より愛され今なお生活に息づく日本の伝統的な和の文様を藍染めの刺子生地で描いた少年少女用剣道着「武州一 文様刺しシリーズ」を開発しました。